

利尻島におけるシマゴマ *Luscinia sibilans* の標識記録

小杉和樹

〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町

A Banding Record of Rufous-tailed Robin, *Luscinia sibilans*, from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Kazuki KOSUGI

Fujimi-cho, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

Abstract. One Rufous-tailed Robin was captured on 10 May 2007. The bird was banded and released from Rishiri-cho forest Park in Rishiri Island, Northern Hokkaido.

シマゴマ *Luscinia sibilans* (Swinhoe, 1863) は、アルタイ地方、アムール川流域といったシベリア中部から南東部とウスリー地方、サハリンで繁殖し、冬期は中国南部のハイナン島付近といったアジア南東部に渡るが、日本においては稀な渡り鳥であり、主に日本海側の地域で記録されているだけである (日本鳥類目録編集委員会, 2000)。また、記録は主に春の記録が多い (真木・大西, 2000)。これまで、利尻島でも春の渡り期にさえずりが聴かれ、飛来は確認されていたが、目視による記録がなかった種である。筆者は 1993 年から利尻町森林公園内で継続して行っている鳥類標識調査中にシマゴマ 1 羽を捕獲し (Figs. 1-2)、標識を付した後放鳥したので報告する。なお、利尻島における標識調査で本種を標識放鳥したのは初めてである。

シマゴマを捕獲したのは 2007 年 5 月 10 日午前 6 時である。当日は、午前 4 時半から調査を開始し、5 時半までにコマドリ *Erithacus akahige* (Temminck, 1835) 3 羽を捕獲し、午前 6 時の点検で、シマゴマ 1 羽を捕獲した。その後、調査終了の 6 時半までに更にコマドリ 4 羽と同属であるノゴマ *Luscinia calliope* (Pallas, 1776) 2 羽も捕獲した。なお、シマゴマは雌雄同色であるとともに、



Figures 1-2. *Luscinia sibilans* (10 May 2007. Rishiri-cho Forest Park.)

第1回夏羽と成鳥夏羽に大きな差異がないため(山階, 1941), 今回捕獲したシマゴマは性別年齢の特定ができなかった。

北海道における, これまでのシマゴマの記録は, 焼尻島(藤巻, 2000)から数件報告され, 標識調査では松前町白神岬での2006年5月6日と5月13日にそれぞれ各1羽の放鳥記録(北海道バンダール連絡会, 2006)があるが, 多くはない。本種は, 前述したように姿を見ることが難しいことから, さえずりで確認されることが多く, そのさえずりもコマドリに似ていることから確認が少ないものと思われる。しかし, 利尻島が繁殖地であるサハリンへの中継地点とも考えられ, 相当数の個体が飛来していることが推測されるため, 今後は調査期間や地点を検討して, 記録の収集に努めたい。

参考文献

- 藤巻裕蔵, 2000. 北海道鳥類目録改訂2版. 帯広畜産大学野生動物管理学研究室, 83 pp.
- 北海道バンダール連絡会, 2006. 北海道バンダール連絡会会報. 通算75号.
- 日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第6版. 日本鳥学会, 京都. 345 pp.
- 真木広造・大西敏一, 2000. 日本の野鳥590. 平凡社. 654 pp.
- 高野伸二, 1982. フィールドガイド日本の野鳥. 日本野鳥の会. 326 pp.
- 山階芳麿, 1941. 日本の鳥類と其生態第2巻. 岩波書店. 東京. 1080 pp.